

A stylized map of Fukuoka City is centered on a dark blue background. The map's outline is composed of thick, wavy, multi-colored bands in shades of brown, orange, green, purple, pink, and yellow. The text is positioned to the right of the map's center.

福生市総合計画

[第 5 期] 後期基本計画

概要版

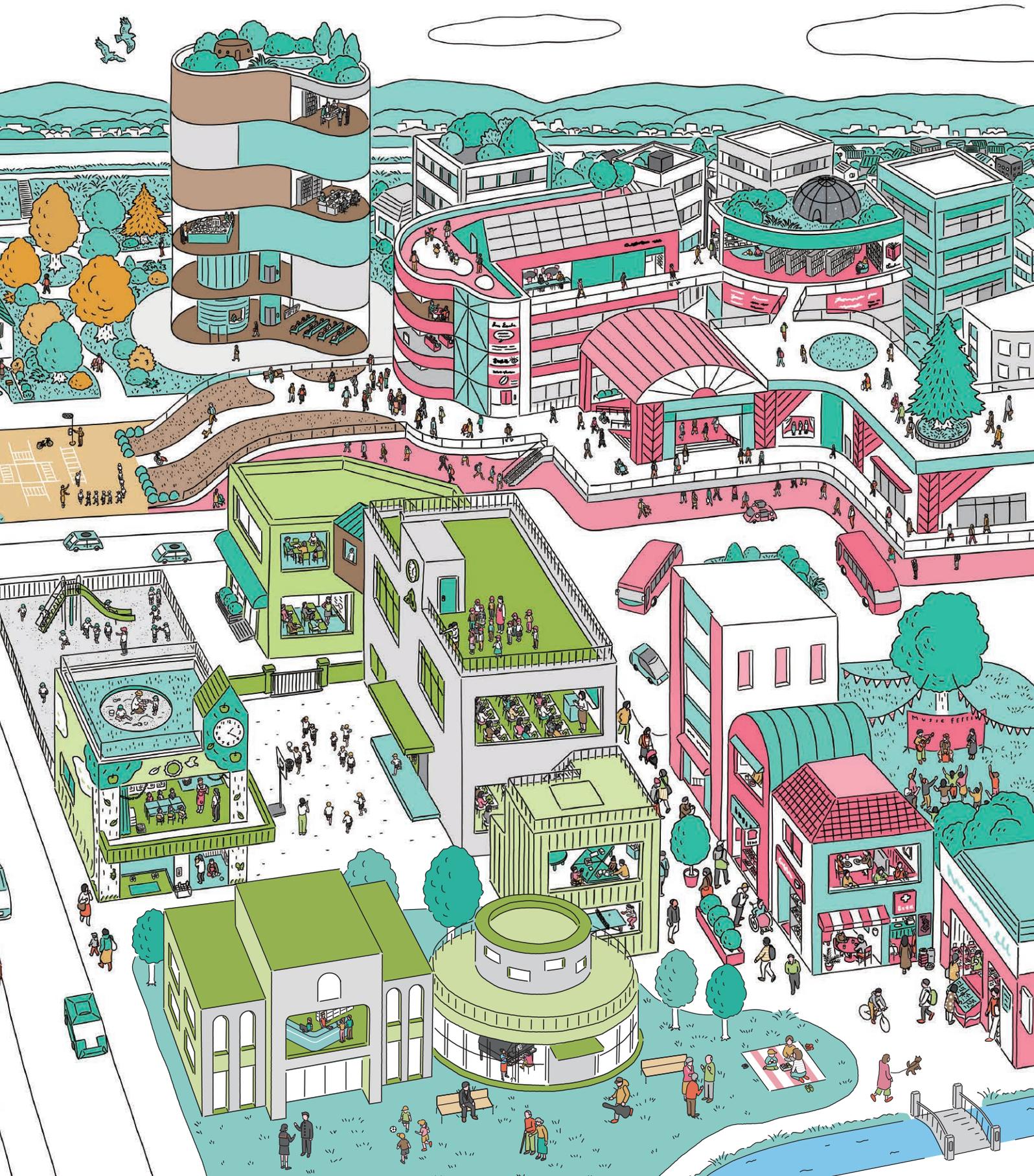
「可能性」と「未来」

安心して子育てできるまち。
歳をとっても、
生き生きと暮らせるまち。
ひとと違うことが、
自分の個性だと素直に思えるまち。

異なる文化の融合を重ねながら
発展してきた福生市には、
一人ひとりが相互に尊重し、
認め合い、支え合える
環境があります。

福生の人々の夢や目標が、
まちに多くの可能性と未来を
作りだしていきます。



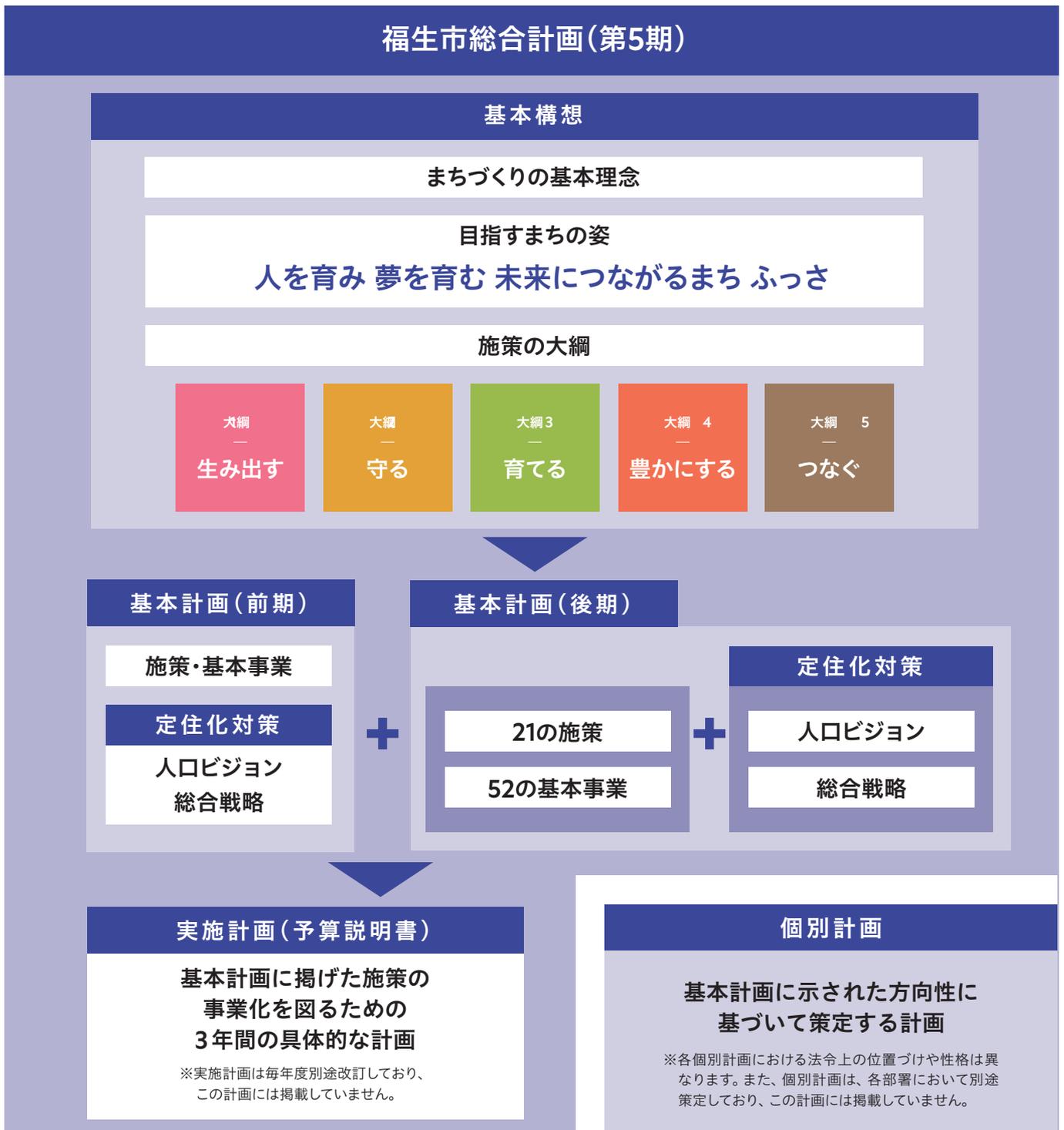


人を育み 夢を育む 未来につながるまち ふっさ を実現するために

福生市は、令和2年3月に策定した「総合計画」に基づいて、「多様な個性や目標を持つ市民一人ひとりが尊重し合い、認め合い、支え合うまち」の更なる磨き上げに向けて、様々な取組を推進してきました。

このような未来への道筋を示すガイドブックである「総合計画」は、福生市のまちづくりの基本的な理念を示す「基本構想」と、これに基づく行政の行動計画を示す「基本計画」で構成されています。

本概要版では、令和7年度から令和11年度までを計画期間とする後期の基本計画における取組を、「基本構想」における目指すまちの姿を実現するための5つの行動指針「生み出す」「守る」「育てる」「豊かにする」「つなぐ」に沿って紹介します。



「生み出す」は、これまで地域にあったもの・考え方・関係性・活力を基に、新たな展開を創り出すことを指します。取組によって生み出されたものの存在が、新しい福生市の価値へとつながります。

新しい技術に加え、多様な世代の異なる視点や手法を取り入れることで、日々の生活の中で発生する問題を解決したり、停滞した状況を打ち破ることが可能となり、地域が絶えず発展・前進していきます。



まちづくりの行動指針「生み出す」に沿って、次のような取組を推進します。

施策1 地域産業の活力を生み出す

地域経済の活性化とにぎわいの創出に向けて、地域事業者の経営支援とともに、市内での創業を志す人の支援の推進を通じて、新たな産業の創出や雇用の促進を図ります。

施策2 人の交流・にぎわいを生み出す

観光を取り巻く全ての人にとって魅力的な地域となるよう既存の観光資源に磨きをかけるとともに、外国人を中心に市外向けのプロモーションを充実させることで、交流とにぎわいを生み出します。

また、福生市ならではの地域資源を活用し、消費活動を通じて文化や人とのつながりを感じることが得られる精神的な価値を創出する地域産業を育みます。

施策3 利便性の高い都市機能を生み出す

都市機能の集約化など、人口減少や人口構造の変化を見据えた持続可能な都市に向けた土地利用を推進するとともに、快適に暮らすことができるまちづくりを推進します。また、高齢者や障害者、子育て世帯等を含む全ての人が暮らしやすい利便性の高い都市機能を生み出します。



「守る」は、福生市に受け継がれている想いの^{たすき}櫛を大事にすることや、福生市に関わるものを犯罪・災害・事故などの脅威から遠ざけることを指し、安心して生活できるまちの環境整備につながります。

情報通信技術の発達や少子高齢化といった環境変化の中で発生しうる様々な危機から福生市に関わるものを守るほか、歴史・文化・自然環境といった福生市に根付く魅力を磨き、快適な住環境を整備します。

まちづくりの行動指針「守る」に沿って、次のような取組を推進します。

施策4 未来につながる環境を守る

循環型社会の構築により環境負荷の低減を図ります。また、生物多様性や自然環境の保全・改善などネイチャーポジティブを推進し、経済活動と自然が共生する持続可能な循環型社会の実現を目指します。

施策5 快適な生活環境を守る

公害問題への対応や、安心して暮らせる優良な居住空間の提供などを行うことで、福生市に住む全ての市民にとって快適な生活環境を整備します。

施策6 安全・安心な生活を守る

市民の防災意識の醸成や、交通事故や消費者トラブルなどの防止に向けた関係機関等と連携した情報発信を通じて、市民の安全・安心の確保に取り組みます。

施策7 基地があるまちでの生活を守る

航空機騒音等の基地に起因する市民生活への影響を軽減、緩和、解消していくため、国や米軍等の関係機関への要請等を粘り強く続けます。

施策8 誇れる歴史・文化を守る

郷土資料室が保有する各種資料等のデジタル化及びこれらを活用した魅力発信に取り組みます。さらに、市民が気軽に地域の歴史・文化に親しむことができる環境の整備に取り組みます。

「育てる」は、福生市に関わるものが成長・発展できるように力を注ぐこと、能力を発揮できることを指し、福生市でできることの範囲と将来の選択肢を広げることにつながります。

各々が目標を達成するには、周囲の状況や手助けの有無だけではなく、自身ができることを増やすことも重要です。福生市に関わるものが将来の選択肢を増やし、自身の発展や幸せのために生活できる環境を整備します。



まちづくりの行動指針「育てる」に沿って、次のような取組を推進します。

施策9 安心して子どもを産み育てる環境をつくる

「こどもまんなか ふっさ」をスローガンに掲げ、多様なニーズを持つ市民が安心して子どもを産み育て、次世代を担う子どもたちが健やかに育つよう、経済的支援や子育ての相談体制の強化など、必要な支援を切れ目なく提供します。

施策10 未来を担う子どもを育てる

幼児期の教育の充実、学校業務や教育活動にデジタル技術を活用する校務DXなどを推進するとともに、一人ひとりの状況に応じた教育の充実に取り組み、変化していく社会において誰もが活躍できる教育を提供します。また、子どもからのSOSのサインや変化を見逃さず対応します。

施策11 自分らしくいられる居場所をつくる

官民の連携により、子どもや若者を含む多様な人材が集い交流する場や自分の長所を発揮する場を作ることによって、全ての市民が互いの価値観を認め合い、自分らしくいられる環境づくりを推進します。

施策12 地域ぐるみで人を育てる

これまで実施してきたコミュニティ・スクール事業や学校支援地域組織事業など、子どもと地域をつなぐ取組を継続します。また、地域ぐるみで人を育てることで顕在化してくる課題の解決に向けて、情報共有や意見交換の場の提供を図るなど、取組の持続可能性を確保するとともに、子どもたちの成長を支える仕組みづくりを行います。

大綱4 | 豊かにする

「豊かにする」は、福生市に関わるひとの考え方や生活、それを取り巻く環境を多様化し、充実させることを指します。「ひと」、「まち」、「くらし」の水準を引き上げ、日々の暮らしをより良いものとするにつながります。

生活の豊かさの実現や向上に関するニーズが多様化する中で、福生市に関わるひと一人ひとりの生活を充実させることで、福生市は魅力と活力あるまちであり続けます。



まちづくりの行動指針「豊かにする」に沿って、次のような取組を推進します。

施策13 高齢期の生活を豊かにする

高齢者が元気で生きがいを持って充実した日々を送れるよう、自身が持つ経験や能力を活かした活躍の場づくりを支援します。また、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域包括ケアシステムを推進し、高齢者サービスの持続可能性を高めます。

施策14 障害者（児）の生活を豊かにする

障害者（児）が一人ひとりのニーズに応じた生活や就学・就労ができるよう、法律や制度に基づき、事業者と連携しながら、障害者福祉計画等に基づいた事業展開による安定した障害者福祉サービスや活動の場を提供します。

施策15 地域の連携により安定した生活を支える

地域共生社会の実現に向け、地域団体や関係団体等と連携して重層的支援体制を整備し、多様な人々が地域活動に参加して地域課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に努めます。

また、市民一人ひとりが健康で文化的な生活が営めるよう、生活困窮者に寄り添って対応し、国の制度に基づく生活保障制度等を適正に実施します。

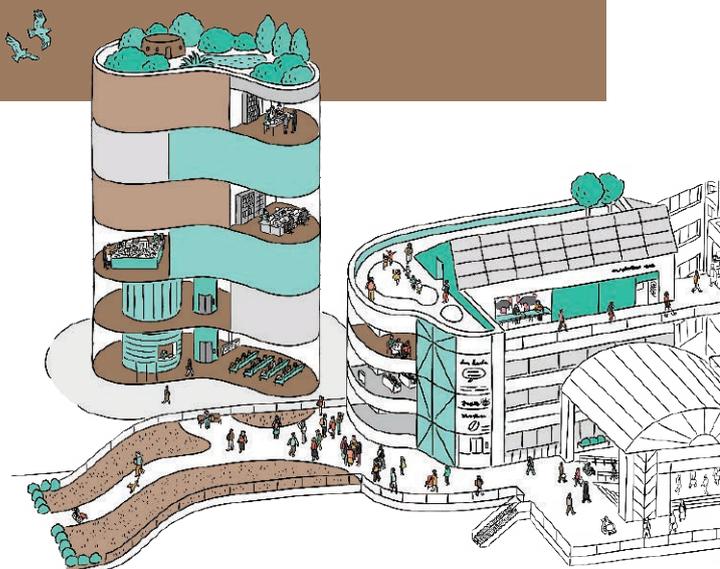
施策16 健やかで豊かなくらしを支える

誰もが健やかで心豊かに暮らすことができる社会を目指すため、医療機関等との連携を密にした健康づくりの推進や保健医療体制の充実を図ります。

また、高齢化が進む中で、年齢にかかわらず生きがいを持って、心も身体も健やかで豊かに暮らすために、気軽に生涯学習やスポーツに取り組める環境の充実を推進します。

「つなぐ」は、福生市に関わるもの同士を切れないように保つこと、将来へと続く流れが途切れないように保つこと、離れているもの同士を引き合わせることを指し、その輪を広げていくことにつながります。

まちづくりに向けた先人たちの取組を現代、そして次の世代へとつなぎ、その関わりの輪を広げていくことで、福生市のまちづくりをより良いものにしていきます。



まちづくりの行動指針「つなぐ」に沿って、次のような取組を推進します。

施策17 人と地域をつなぐ

市民ニーズに即した行政サービスを提供するため、コミュニケーションツールを適切に活用し、市民との情報共有を積極的に図るとともに、他自治体との広域連携等によって、市民の利便性向上を図ります。

施策18 市民に信頼される行政運営を進める

市民から信頼される行政サービスを提供するため、PDCAサイクルを適切に運用することで、事業の有効性・効率性の向上を図ります。また、デジタル技術を積極的に活用した業務効率化を行い、職員の配置見直しなどの人材活用を進め、社会状況に応じた計画的な行政運営を推進します。

施策19 持続可能な財政と行政組織を未来につなぐ

新たな行政需要に対応した質の高い行政サービスを提供できるよう、持続可能な財政運営に努めるとともに、社会環境の変化に伴う様々な課題に迅速かつ効果的・効率的に対応できるよう、職員の育成及び行政組織の風土改革を進めます。

施策20 地域づくり活動をつなぐ

複雑で複合的かつ多様化する地域課題の解決に向け、市民がまちづくりに主体的に取り組めるよう、地域での活動を支援するとともに、市民や市民活動団体の参画及び協働の動きに対応できる環境づくりに努めます。

施策21 多様性を認め合う

市民の相互理解や多様性に対する理解を深め、誰もが尊重され安心して自分らしく暮らせる社会の実現を図ります。

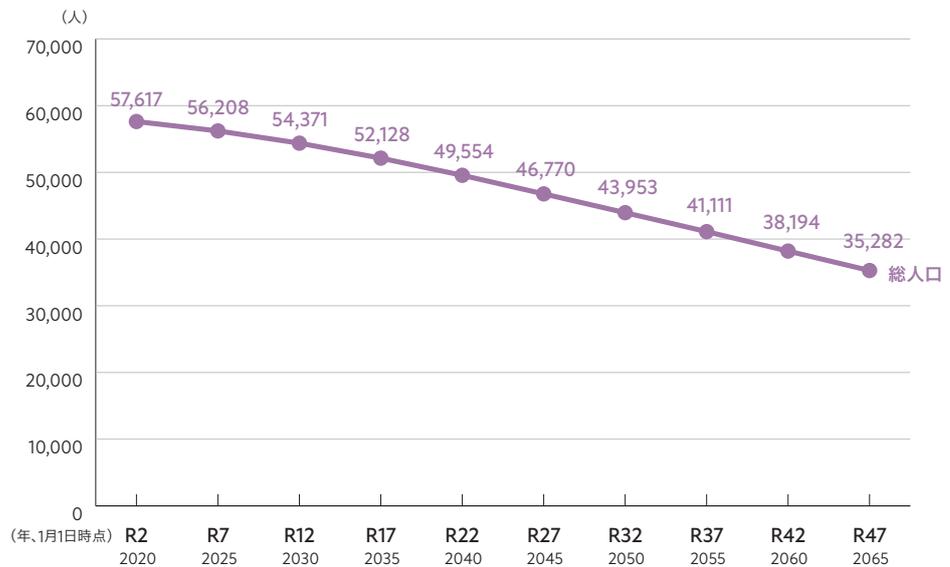
定住化対策の更なる推進（人口ビジョン及び総合戦略）

人口ビジョン

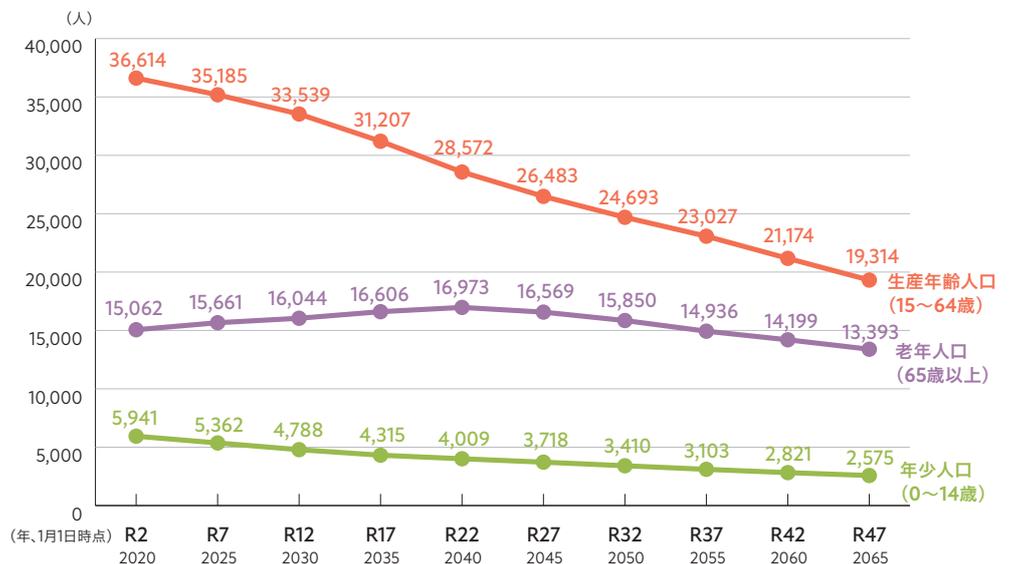
福生市は、東京都内の他市よりも早い平成14年をピークに人口減少が始まり、これまで定住化対策の調査・研究や交流人口増加策の取組に加え、平成26年3月には定住化に資する諸施策・事業を体系化した「定住化対策（新5G）」を策定し、定住化対策に取り組んできました。平成28年3月には「人口ビジョン及び総合戦略」を初めて策定し、令和2年3月には総合戦略を総合計画と一体的に策定するなど、中長期的な視点を持って継続的に定住化対策に取り組んできました。本ビジョンは令和7年3月の「総合計画（第5期）後期基本計画」の策定に伴い福生市が策定したものです。

福生市の今後の将来人口推計を踏まえて、総合計画の後期計画期間（令和7年度から令和11年度まで）の最終年度である令和11年度末の福生市の目標人口を **54,400人以上**とします。

将来人口推計
(総人口)



将来人口推計
(年齢3区分)



総合戦略

人口減少を抑制し、目標を達成するための重点的な取組として、2つの地域ビジョンを新たに設定した上で、前期計画の5つの戦略分野を引き続き推進していきます。福生市の現状と課題を踏まえ、定住化対策をより効果的に進めるための戦略を示しています。

総合戦略

地域ビジョン

子どもを産みたいという希望がかなうとともに、子育てしたいまちとしても選ばれ、子どもの笑顔と若者の活力にあふれる地域

高齢者がいつまでも健康で、豊富な経験と知識を活かし、魅力と活力のあるまちの担い手の一人として生涯現役で活躍できる地域

戦略分野

1 住宅戦略分野

子育て世代の受皿となる良質な住宅及び住環境の確保

2 福祉・保健戦略分野

子育て支援の充実と健康づくりの推進

3 教育戦略分野

子育て世代にとって定住の誘因となる教育の推進

4 生活安全戦略分野

生活空間における安全・安心なまちづくりの推進

5 産業・観光戦略分野

中心市街地活性化、創業支援、交流人口の増加によるまちの活性化

デジタル実装の基礎条件整備

デジタル基盤の整備
デジタル人材の育成・確保
誰一人取り残さないための取組



福生市総合計画（第5期）後期基本計画について
詳しく知りたい方は
是非こちらを御覧ください

Fussa City

The 5th Fussa City Comprehensive Plan
Basic Plan for the Latter Period